

# 支援者が課題と感じていること

資料第14号-2

- 支援者（当日の参加者）が課題と感じていることを、カテゴリー化してさらにラベルを付けたところ、  
**①相談支援 ②就労 ③通いの場・居場所 ④住環境・住まい ⑤人材確保・育成**の5つに集約された。
- 参加者の属性にはよるものの、特に「**相談支援**」に関する課題は多岐に渡り、挙げられた数も多かった。
- 多くの支援者が、地域で様々な課題を感じ（抱え）ながら支援を行っていることが明らかになった。

## ①相談支援

### 支援の困難さ

- ・支援拒否、つながりを望まない
- ・相談のゴール設定が難しい

### 情報・連携

- ・社会資源を知りたい
- ・支援のつなぎ、連携の方法

### 家族

- ・親高齢、子ども障害者の家族支援
- ・家族の障害理解

### 金銭管理・権利擁護

- ・金銭管理ができていない人の支援

## ②就労

- ・体調が整っていないが本人が就労希望
- ・次のステップ（就職、自立）にどう進めていくか
- ・障害者雇用の職種の偏り

## ③通いの場・居場所

- ・精神疾患の方の通いの場がない
- ・事業所以外の居場所
- ・特に40～50代の居場所がない
- ・通所先（日中活動）が見つからない

## ④住環境・住まい

- ・居住環境が劣悪な方が多い
- ・良い条件の住居が見つかりづらい
- ・施設の空きが少ない

## ⑤人材確保・育成

- ・マンパワーがギリギリ
- ・利用者増に伴い、ひとり一人にかける時間が取りにくい
- ・緊急時に対応できないことがある

- この5つは、当事者の声をもとに実施したワークショップで得られた意見であり、これから解決すべき課題、または取り組むべき方向性を示している。今後は、これらの課題をもとに、更に協議会で議論や検討を進めていきたい。
- また、精神障害者包括支援部会だけで検討する課題ではないため、相談支援部会、就労支援部会ともこれらの課題を共有し、共通する部分については連携、または分担して取り組みたい。